

土

木

## という言葉について

「土木」といえば、何をイメージしますか？  
やはり、工事現場、泥や土、そして、環境破壊…でしょうか？

確かに、そういう側面があることは、事実かもしれません。  
しかし、それは、土木のごく一部なのかもしれません。

ここでは、そのことについて、少し考えてみたいと思います。



# 道みちがない生活せいかつ…？

もし、「道みち」がなかったら、  
わたしたちの暮らしは、どうなるのでしょうか？



# みどり 緑のない街…？ まち

もし、「<sup>みどり</sup>緑」がなかったら、  
わたしたちの暮らしは、どうなるのでしょうか？



# 水害すいがいの多いまちおお…？

もし、「川」に手を加えなければ、  
どれくらい、「水害」が起きてしまうのでしょうか？



ひよっとすると、わたしたちは、

<sup>みち</sup>道<sup>みどり</sup>や<sup>みどり</sup>緑がなかったら、  
<sup>すいがい</sup>水害<sup>おお</sup>が多かったら.....

<sup>ふつう</sup>普通<sup>く</sup>の暮らしが、  
<sup>でき</sup>出来なくなるのかもしれない。



とするなら……

普通の暮らしのためには、

どこかで、誰かが、

道や緑や川の事を考えていくことが必要なのかもしれない。

それを考えていくのが、

土木の仕事です。

土木は、  
英語で Civil Engineering といいます。

ここにCivilとは「市民」「文明」という意味です。

つまり、土木（Civil Engineering）とは、

「市民のための工学」

あるいは

「市民の文明的な暮らしのために、  
人間らしい環境を整えていく仕事」

を意味する言葉なのです。



JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内

TEL:03-3355-3441 FAX:03-5379-0125

E-mail:inf@jsce.or.jp

<http://www.jsce.or.jp>